

令和7年度 町単独鷺敷簡易水道渇水対策検討業務 仕様書

1. 業務目的

近年の頻発する渇水によって那賀町の上水道事業に支障をきたしている。そのため、鷺敷地区の簡易水道施設での渇水対策の方法（方針）を検討する。なお、検討対象施設は「仙ヶ谷浄水場（鷺敷）」と「さくら浄水場（中央）」の2ヶ所とする。

2. 業務内容

①計画準備

特記仕様書及び貸与資料の内容を把握し、業務実施にあたっての技術的方針及び作業工程等を検討し、業務計画書を作成する。

②基礎資料の収集・整理および現地調査

検討に必要な資料（浄水場の諸元、実績の取水量・使用量、近傍の流量資料等）を収集・整理し、状況に応じて現地調査を実施する。

仙ヶ谷浄水場（鷺敷）

給水区域内人口：1800 人

日平均給水量：592m³（328ℓ/人）・・・0.0069m³/s

配水池：V=430m³（RC 造り） 導水管Φ200mm、L=170m

さくら浄水場（中央）

給水区域内人口：1500 人

日平均給水量：365m³（243ℓ/人）・・・0.0042m³/s

配水池：V=240m³（RC 造り） 導水管Φ150mm、L=34m

③現在の渇水状況の分析

②の実績値または近傍の流量資料によるシミュレーション結果から現状での渇水状況を検討地点別に定量的（渇水期間、不足量等）に評価し、渇水の被害や原因等を分析する。

④渇水対策案の検討

③の分析結果より渇水対策案を検討する。例えば、貯水池を増強する場合、渇水期間や不足量から貯水池の必要容量を算出し、対策の規模を把握する。

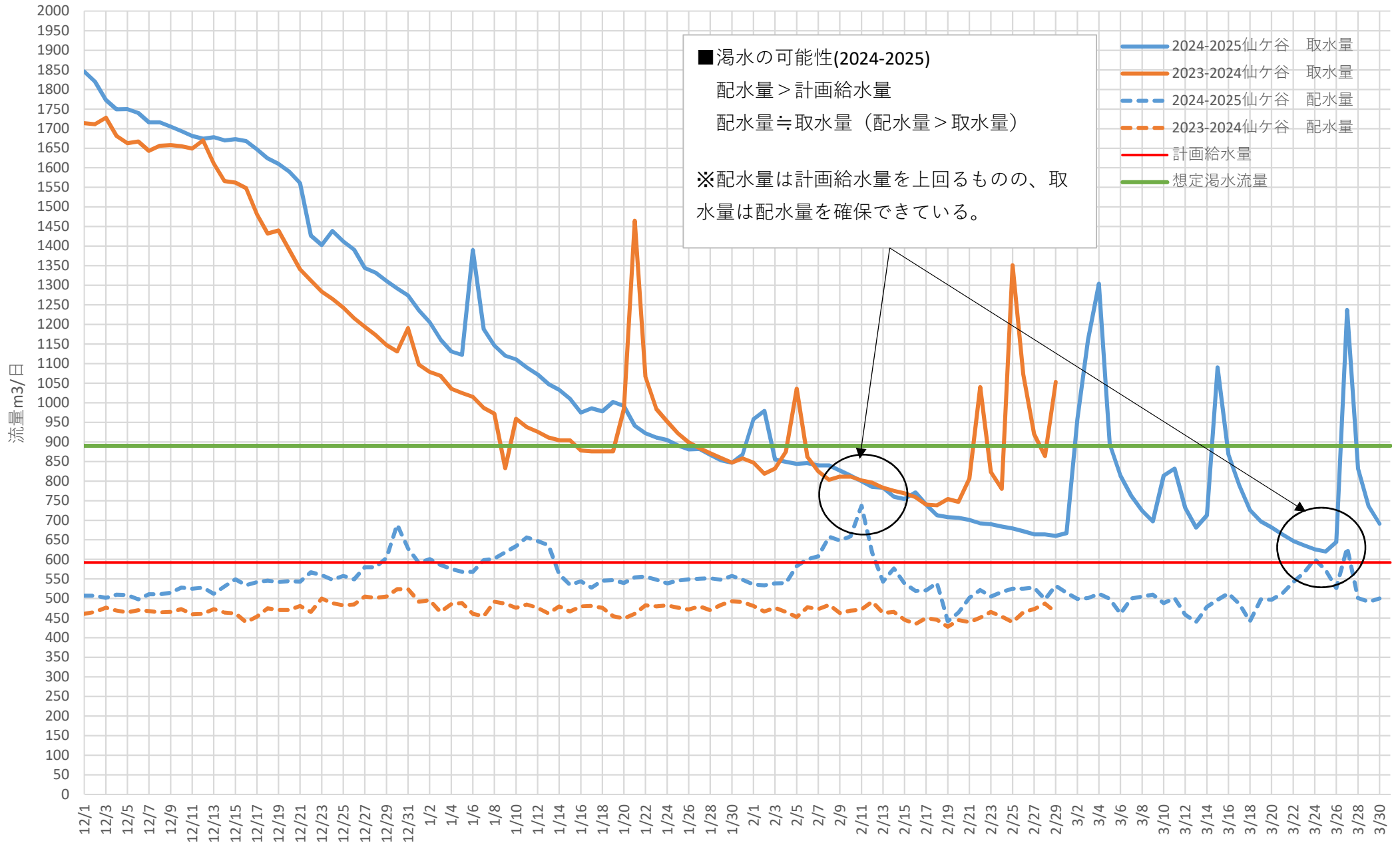
⑤報告書作成

検討結果をとりまとめ、報告書を作成する。

⑥打合せ協議

打合せ協議は3回（業務着手時、中間1回、成果納入時）を予定している。

仙ヶ谷浄水場 実績取水量・配水量（使用量）



さくら浄水場 実績取水・配水量（使用量）

